

こころ便り

第208号

平成29年7月

〒679-1434
兵庫県たつの市新宮町大屋六六ハ一十二
株式会社 新宮運送グループ
代表/木南 一志
kininami@shingu.co.jp
電話 079-11-7511212

おもんばか 慮る

梅雨の季節となりましたが、昔のようにしとしと降る雨が最近は少なく、一気に降っているところなどが影響が出ます。日頃から準備しておくことが大切ですが、排水溝の掃除など見えないところは誰も実行しない場所です。排水溝は、道路の脇や下をくり抜いて作られています。グレーチングという網状の溝蓋の下を雨水が流れるようになっていっているのです。まずは、そこを流れるはずですがゴミや落ち葉で詰まってしまう、役割を果たすことができません。すると、急激に増えた水が処理できずに道路にあふれ出る、水が増えて車が立往生することになります。水に浸かった車は、当然廃車となって使い物にはなりません。

近頃の天気のせいにしていようですが、実は人間の心にも同じことが言えるのです。心は目には見えませんが、手入れをするといっても、何処にあるのかさえ分かりません。ではどうやって掃除をするのか。今ではあまり使われることのなくなった「慮る」という言葉にヒントがあるように思えるのです。辞書を引くと、よくよく考える、思いを巡らすとあります。相手の気持ちや、よくよく考える。どう感じているのか、思いを巡らせてみる。そんな時間を取ってみると、心の在り方が見えてくるようになります。ここから、グレーチングをめぐっての掃除に値するのですが、相手に喜んでいただくという行動をとるといふことで

す。しかし、相手を喜ばせても、自分が不満に思っていたなら全く意味がありません。仕事だから、金になるから、と辛抱せよということではありません。

慮るといふ言葉の意味は、もつと深いところにあると考えています。表面づらしか見ずに対応をしたとしたなら、陰に隠れている本当の心は見えてきません。心を込めて喜んでいただくという行動ができたとき、言葉ではなく伝わるものがあります。そこに喜びが生まれて、自分にもやりがいとしての喜びが返ってくるのです。本気で仕事をしたり、人を幸せにしたりした経験のある人にはわかりやすい。

小林麻央さんが亡くなりました。ガンで旅立つ人の報せにいつも感じさせられるのは、十五年も前にスキルス胃癌の切除手術を経験して私は今、何のために生きていのかということ。ガン患者の相談を何十人も受けてきて、思い起こせば多くの人の笑顔が浮かびます。

自分が生かされている意味はと、よくよく考えると、この経験を通じて少しでも世の中を良くすることではないかと思えるのです。一度しかない人生を、周りの人を喜ばせる行動へとつないでいきませんか。人生の旅立ちに「ありがとう」を残せる生き方を共にしてまいりましょう。

被災地にこころを寄せながら

木南 一志 拜

NPO法人 愛ランド様の協力で障害を持つ方々の力で、皆様にお届けさせていただいております。

尋常小學校修身書 卷四

第二十七 よい日本人

天皇陛下は明治天皇の御志をつがせられ、ますます我が國をさかんにあそばし、又我等臣民を御いつくしみになります。我等はつねに天皇陛下の御恩をかうむることの深いことを思ひ、忠君愛國の心をあげ、皇室を尊び、法令を重んじ、國旗を大切にし、祝祭日のはれをわきまへなければなりません。日本人には忠義と孝行が一ばん大切なつとめであります。家にあつては父母に孝行をつくし、兄弟たがひにしたしまなければなりません。

人にまじはるには、よく禮儀を守り、他人の名譽を重んじ、公益に力をつくし、博愛の道につとめなければなりません。

そのほか規律たたくし、學問にべんきやうし、迷信におちいらざ、又常に身體を丈夫にし、克己のならばしをつけ、よい習慣を養はなければなりません。大きくなつては志を立て、自立自營の道をはかり、忠實に事にあたり、志を堅くし、仕事にはげまなければなりません。

我等は上にあげた心得を守つてよい日本人とならうとつとめなければなりません。けれどもよい日本人となるには多くの心得を知つて居るだけではなく、至誠をもつてよく實行することが大切です。至誠から出たものでなければ、よい行のやうに見えてもそれは生氣のない造花のやうなものです。

(卷四終り)